

令和8年度 第2回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月1日（水） 10時00分～11時30分
- 2 開催場所 篠原小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 直樹、脇本 和義、森下 晃司、辻村 栄子
石津 正貴、寺田 紗美
- 4 欠席委員 山本 学、佐野 みなみ、榊原 貴之
- 5 オブザーバー 長谷川 光洋（篠原協働センター）
- 6 学 校 今田 徹（校長）、藤井 早苗（教頭）、林 裕一（主幹）、
藤田 佐恵子（CS担当教職員）、中島 和美（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中島 和美
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木直樹委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）授業についての感想、意見
- （2）学校の抱える課題と改善策について

11 会議記録

司会の藤井から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）授業についての感想、意見

研修主任教員の岡本より今年度の研修主題について説明があり、また主幹教諭の林より発達支援教育について説明があった。その後10時20分～10時50分の間、北校舎の授業（4年～6年、かがやき）を参観し、委員からは以下のような感想、意見があった。

- ・ 6年のクラスでは、子供が自分からプリント配付の手伝いを申し出ている姿に感心した。また、かがやきの教室では、分からない問題を自分から聞いて自ら解こうとする様子が見られ、目指す子供の姿が表れていると感じた。また、上級生が下級生に教える等、クラスの雰囲気も良かった。（寺田委員）
- ・ 5年生の小数の割り算の授業を参観し、4年生で学習する二けたの割り算や、それ以前の算数の知識の定着がとても大事だと思った。学習支援ボランティアの大切さを実感したので、今後も引き続き積極的に支援していきたい。また、先生方は教育機器を上手に使用しており、発言が苦手な子の考えも見ることができて良いと感じた。（石津委員）
- ・ 英語の授業では教員と子供が自然に英語でやり取りする姿を見て、今までの授業の積み重ねの成果だと感心した。かがやきの教室では、子供たちの気付きや「分かった」という気持ちを上手に引き出していて子供の自己肯定感にもつながる良い指導だと思った。（辻村委員）
- ・ 教員と子供が英語で自然にやり取りする様子や、当たり前のように子供同士で教え合う様子、また、ゲーム感覚の参加型の授業を見て、教育現場の変化を実感した。（森下委員）

- ・ 知識を教えるだけでなく、「子供に気付きを与え、やる気を引き出す」授業を行うためには、教員の教材研究や研修も必要だと思う。先生方は本当に頑張っていると感じた。（協本委員）
- ・ 様々な情報が日々更新される中、先生たちの教材研究も大変だと思うが、家に持ち帰ることなく、無理せずに行ってほしい。A I も利用しているのか。（石津委員）
- ← ワークシートや動画などは学校でしか作成できないが、日常生活の中でも常にアンテナを張っていると思うので、プライベートも大切にしてもらい、無理なく勤務できるよう促していきたい。（校長）
- ← A I は利用し始めており、教材や資料を作成する時間は減少するが、それ以前に膨大な量の情報を取捨選択し、処理するための労力や時間が必要になる。まだA I を使いこなすこと自体が大変で、試行錯誤しながらやっている。（主幹）
- ・ 発達級のクラスでは複数の学年の子供がいて指導が大変だと思うが、個々への対応が上手で感心した。（直樹委員）
- ・ 小学校では「気付く」「話し合う」授業に重きをおいているが、中学校で知識を身に付ける板書中心の授業になると、とまどうこともあるのではないかと思う。（直樹委員）

（２）学校の抱える課題と改善策について

- ・ 算数の学習の積み重ねの大切さや、個々に対応する必要性を実感した。まずは低学年の加減乗除を身に着けることから支援できるようボランティア活動を拡充させていきたい。（石津委員）
- ・ 以前より算数の授業の進み方が早く感じるが、授業数に変更があったのか。（直樹委員）
- ← 思考に関する学習が増えた分、計算などの単純な単元の時間数が減り、内容が凝縮された授業になっている。（主幹）
- ・ 不登校の児童もいるので、個に応じた支援をしていきたい。また、ボランティアについては、算数や家庭科の実習など、個々に支援が必要な内容が多いので今後も引き続きボランティア参加をお願いしたい。（校長）

その他報告事項等

- C Sコーディネーターの石津委員より、支援活動についての報告等があった。
 - ・ 町探検の付き添い、学習支援、職業講話の講師、登下校の見守り（旗振り）など、ボランティア活動の幅が広がっており、ボランティアの方も楽しそうに参加してくれてありがたい。しかし、一人の方に参加回数が重なると負担になってしまうので、もっと登録者数を増やしたいと思っている。
 - ・ 先生方から、ボランティアの参加のあり方など（支援でなく指導になっていないか、支援方法の希望等）について率直な意見を聞いて活動にフィードバックしていきたいと思っている。
- 協働センターの長谷川氏より、今後協働センターで開催される夏休みこども講座やボッチャ大会の紹介があった。
- 司会から、次回会議は、令和8年12月9日（水）午前10時00分から会議室で開催する旨の報告があった。